

令和5年度 県立磯原郷英高等学校自己評価表

No. 1

目指す学校像		阿武隈の山並み、常磐の大海原と豊かな自然に恵まれ、近代文化発展の魁となったこの地で、地域の伝統及び文化を継承し、地域と共に生き、新しい学校文化を創造するとともに、知性、徳性、体力の調和のとれた人間性やひたむきに物事に取り組む姿勢を養い、適性や能力に応じた生徒一人一人の自己実現と、地域、日本そして世界の明日を担う有為な人材の育成を目指す。				
三つの方針		具 体 的 方 策				
三つの方針 (スクール・ポリシー)	「育成を目指す資質・能力に関する方針」 (グラデュエーション・ポリシー)	地域の伝統及び文化を継承し、地域と共に生き、新しい学校文化を創造するとともに、知性、徳性、体力の調和のとれた人間性やひたむきに物事に取り組む姿勢を身に付けた、地域社会に期待される人財の育成				
	「教育課程の編成及び実施に関する方針」 (カリキュラム・ポリシー)	多様な学習ニーズに対応した学習活動とキャリア教育による、生徒一人一人の適性と希望に応じた進路実現				
	「入学者の受入れに関する方針」 (アドミッション・ポリシー)	校訓「真摯にしてまなざし高く」を実践するために、学校や社会の規範を守って日常生活を送ることができ、勉強も部活動等にも積極的に取り組む意欲のある生徒				
昨年度の成果と課題		重 点 項 目	重 点 目 標		達 成 状 況	
令和4年度の進路実績において、就職希望者の内定率100%を昨年度に引き続き達成し、また進学実績でも進学希望者が志望校へ合格するなど成果がみられた。また、部活動では、県大会で活躍する部活動が増加するなど成果がみられた。 一方で学習面では基礎学力の低い生徒や個別に支援が必要な生徒も見られ、個に応じた多様な対応と基礎学力の向上、さらに進路実現等を同時に目指すことが必要である。今後も地域から期待され、信頼される学校づくりに努力していかなければならない。		基本的な生活習慣の確立と規範意識の高揚	① 遅刻の防止、チャイム着席等の時間厳守を徹底する。 ② 服装・頭髪の指導を継続的に進め、秩序ある学校生活を送れるよう指導を徹底する。 ③ 「あ・そ・ぶ・べ・な」(挨拶、掃除、部活動、勉強、仲間づくり)の行動指針を実践する。		C	
		地域社会の期待に応える人材の育成	④ 集団生活における自己の役割と責任を自覚させ、社会のルールやマナーを守りながら主体的に行動できる力を育成する。 ⑤ 地元企業や地域住民との連携など地域の教育力を活かした活動をととして、地域の一員であることの自覚を高め、併せて地域社会で役立つ力を育成する。		C	
		就職希望者の進路意識向上と基礎学力の育成	⑥ 進路を主体的に選択する能力や態度を育成する。 ⑦ 生徒が主体的に学び考え実践する授業を心掛け、生徒の学習意欲を引き出し、基礎的・基本的な知識・技能の確実な定着を図る。 ⑧ キャリア教育を推進し、キャリア・パスポート等によって各教科や進路行事等で学んだこと、体験したことを振り返り、考えをまとめさせることで意識を改革し、生徒一人一人の特性に応じた進路実現を目指す。		B	
		進学希望者の入試に対応できる確かな学力の育成	⑨ キャリア・パスポート等によって生徒一人一人に学習や生活の見通しを持たせることで早期に目標を明確にさせ、主体的・継続的に進路実現に取り組む態度を育成する。 ⑩ 基礎的・基本的な知識・技能の確実な定着の上に、思考力・判断力・表現力等の伸長を図る。		C	
		教職員の働き方改革を進める	⑪ 勤怠管理システムを適正に活用することで、教職員自身も自らの勤務実態に向き合い、業務改善や効率の向上を図る。 ⑫ 教職員が自らの授業を磨くとともに、その人間性や創造性を高め、生徒たちに対して効果的な教育活動を行うことができるよう、放課後等の会議や打合せ等を精選するなどの業務改善を図る。		B	
		ICT活用教育の推進	⑬ タブレットや電子黒板等を効果的に活用し、授業力向上を図る。		C	
		基礎学力の定着と向上のための授業改善	⑭ PDCAサイクルのもと、教科間の相互の授業観察、生徒アンケートを実施、活用することで基礎学力の定着と向上のための授業改善を図り、各教科のKPI(授業満足度)5段階中 3.0 を目指す。		B	
評価項目	具 体 的 目 標	具 体 的 方 策		評 価	次年度への主な課題	
教科指導	基礎学力の育成	学習意欲の低い者・学力の低い者への計画的な指導を行う。	⑥⑦⑧	A	・主体的・対話的で深い学びが得られる個別最適な学びの充実	
	学習指導法の工夫	「主体的・対話的」な学習形態を取り入れ、学習意欲を高め「深い学び」が実現できるよう工夫・改善を図る。	⑦⑨⑩	C		
	研究授業の推進	全教科全教員による互見授業を実施し、「主体的・対話的で深い学び」について教科研修等を行う。	⑦⑩	B		
教 科	国	基礎学力の向上	チャイム着席を励行し、授業開始の準備が整ってからの授業展開を徹底する。 漢字力や語彙力を向上させるため、少人数授業やティームティーチング授業、小テスト等の実施を図る。 話す・聞く・書く・読むの基本的な力を身につけさせる。	①⑥⑨ ⑦⑩ ⑤⑦⑩	B B B	・ICTの活用方法 ・共通教材の作成
		ノート点検や宿題のチェックなどを通じて、成績不振者への早期対策を図る。	④⑦⑩	B		
	語	進路実現のための学力の定着	ICTを活用し、情報を収集・整理し、見極める力をつけさせる。 生徒の実態に合わせた小論文指導や課外指導に努める。	⑦⑩⑬ ⑦⑩	B C	
	楽しい国語の授業づくり	公開授業を実施し、また、生徒アンケートの結果を分析し、授業内容や方法等について研究協議する。	⑦⑩⑬⑭	C		

評価項目	具体的目標	具体的方策		評価	次年度への主な課題	
教 科	地歴公民	基礎学力の向上	始業・終業時間を厳守し、「わかる授業」の展開を図る。	①⑥⑦	B	<ul style="list-style-type: none"> ICTを活用し、時事問題を積極的に授業に取り入れる。 他教科との関連を持たせるような授業展開ができるようにする。 地図の活用を増やす。
			教科書の知識の確かな定着をめざす。	⑤⑥⑦	A	
		生徒の実態に応じた指導を行う。	⑦⑨	B		
		年間学習指導計画に基づいた授業に加え、相互授業参観や生徒アンケートを踏まえた授業改善を図る。	⑦⑨⑩⑭	B		
	進路の希望に対応できる学力の充実	社会認識を深められるような授業の研究と実践に努める。	⑥⑦⑧⑨	C		
		新聞やニュース記事を用いて、時事問題に関心を持たせる。	⑤⑦⑩	A		
	生き生きとした授業の展開	タブレットや電子黒板などのICT教材を積極的に活用する。	⑤⑦⑬	B		
		プリント学習等を取り入れ、個々の積極的な授業参加を目指す。	⑦⑩	B		
	数 学	基礎学力の向上	ティームティーチングによる授業や少人数授業による指導を行い、学習内容の定着をはかる。	⑦⑨⑩	B	<ul style="list-style-type: none"> 演習時間の確保 ICT機器の活用
			定期考査や各単元ごとに重要点や留意点を整理させる振り返りの時間を設定し、学習事項のまとめをさせる。	⑦⑨⑩	A	
		家庭学習習慣の定着	定期考査に向けた課題や長期休業中の課題を通して学習習慣のまとめと確認をさせる。	⑦⑨⑩	B	
		授業の改善	授業公開での授業見学や教員間の意見交換、および生徒アンケートの結果を分析し、授業内容・指導方法等の改善に向けて研究協議する。	⑦⑩⑭	C	
	小テストや定期考査から理解度を把握し、知識技能の習得のために適切な課題設定や、タブレット等のICTを活用した授業の設定など改善を行う。		⑦⑩⑬⑭	C		
	理 科	基礎学力の向上	ICT機器を用いながら、自然現象に対する興味・関心を高める工夫をし、学力の向上に努める。	⑦⑩⑬	A	<ul style="list-style-type: none"> 授業・実験等で引き続きICT機器を活用していく
			タブレット等を用いながら、基礎問題を多く解くことによって、基礎学力の定着と向上に努め、不十分な生徒には補習等を実施する。	⑦⑩⑬⑭	B	
		学習内容の定着のため、質問を受ける時間を確保し解決にあたる。	⑦⑩⑭	A		
		学習習慣の定着	ノートやレポートの提出を定期的に行うことで、学習習慣の定着を図る。	⑦⑩	A	
	授業の改善	担当者全員が授業を公開し、また、生徒アンケートを実施してその結果を分析し、授業内容・方法等について教科内で研究協議する。	⑦⑩⑫⑭	B		
	保 健 体 育	健康安全に留意した授業の展開	常に生徒の健康状態を把握し、安全管理に留意しながら実技を実施する。	④⑤	A	<ul style="list-style-type: none"> ICT機器の有効活用 教員間の情報共有
			備品の補充や器具等の安全性について定期的に点検する。	④⑤	B	
		豊かなスポーツライフの基礎を培う体育学習の工夫	集団行動の重視により、自己コントロール力を身につけさせる。	④	B	
			自発的な動機づけを大切に、同じ種目を選択した仲間と協力して課題を解決して学ぶ態度を育成する。	④⑤⑧⑨⑩	A	
			授業前に整列、チャイムと同時に県民体操を正しく行うようにする。	①⑥	A	
			マラソン大会の練習では、積極的に参加し、不十分な生徒に補講を実施する。	⑥⑦⑩	A	
ICTを活用した基礎学力の定着と向上	ICT機器を活用し、知識・理解のさらなる定着を図る。	⑬⑭	C			
	授業内容・方法等について工夫し、研究協議を行うなど、常に授業改善を図る。	⑥⑧⑩⑭	B			
芸 術	基礎学力の向上	生徒の実態に応じ、適切な課題を設定して学習する。	⑦⑩	B	<ul style="list-style-type: none"> 生徒の実態に応じたきめ細やかな指導 双方向でのICT活用 地域の伝統芸術を学ぶ 	
		授業前に着席・チャイムと同時に授業を開始できるようにする。	①②	B		
	生徒の興味・関心を引き出す授業の展開	ICT機器を活用し、生徒がよりわかりやすく学べるよう工夫する。	⑦⑬	B		
	日本の伝統文化を愛好する心情の育成	年間計画の中に日本の文化と伝統的な芸術の特色を含んだ学習内容を取り入れる。	⑦⑧	B		
基礎学力の定着と向上のための授業改善	振り返りシートを活用し理解度等を図ることで、授業改善に努めていく。	⑭	B			
英 語	基礎学力の向上	小テストを実施し、学習内容の定着度を分析する。	⑦⑩⑭	C	<ul style="list-style-type: none"> 「生徒」が主語となるICT活用の習慣化 個別最適な学びの実現 授業規律の確立 	
		生徒のレベルや要望に合わせて、個別指導を実施する。	⑦⑩	B		
	家庭学習の習慣化	定期的に宿題を出し、回収、点検をする。	⑦⑩	B		
	英語でコミュニケーションを図ろうとする態度の育成	クラスルームイングリッシュを適度に活用し、英語学習への雰囲気づくりに努める。	⑦	D		
		視聴覚教材等の補助教材を有効利用し、生徒の興味を引きつける。	⑦⑩	B		
	ALTとのティームティーチングを通して、生きた英語に触れさせる。	⑩	C			
	指導法の改善	教材研究を十分に行い、日々の授業実践の中で効果的にICT機器を活用しながら改善の努力をする。	⑦⑫⑬⑭	B		
		教科内での授業公開や、生徒アンケートの結果の分析を通して、指導法について研究協議する。	⑦⑫⑭	C		
教員の英語の運用能力を高める努力	各研修会に積極的に参加する。	⑫	C			
ALTとのコミュニケーションや各検定の受験等の機会を通し、自己の英語活用能力を高める。	⑫	C				

評価項目	具体的目標	具体的方策		評価	次年度への主な課題	
教科	家庭	自立した生活に必要な基礎的・基本的な知識と技術の習得を図る	授業開始時刻と終了時刻を厳守させ、服装や飲食物に関するルールを徹底する。	①②④	C	・年度当初からICTを活用した授業を展開する。 ・課題解決型学習の実現に向け、ホームプロジェクト活動を推進する。
		課題解決型学習を行い、物事の見方、考え方を働かせる	生徒の実態に即した授業展開をする。	④⑦	B	
		授業改善	タブレット、電子黒板等のICT機器を活用し、生徒が視覚的に理解できるようにする。	⑦⑩⑬	C	
		授業改善	ホームプロジェクトを行うことを通して、課題解決能力を身につけさせる。	⑩	B	
	情報	情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力の育成	授業アンケートの結果を分析し、授業改善を図る。	⑭	C	・基礎知識および技術活用能力を身に付けさせる
		授業改善の工夫を図る	プログラミング、情報デザインの適用などを通して、問題の発見・解決を遂行できるようにする。	⑦⑩	B	
	商業	基礎学力の向上	教科間の授業見学や生徒アンケートを通して、日々の授業を振り返り、授業改善を図る。	⑭	B	・ビジネスの基礎知識の定着 ・専門的知識への発展
		ビジネスに必要とされる知識・態度等の涵養	副教材やプリント、ICT機器等を活用し、学習内容の定着を図る。	⑦⑬	B	
		授業改善の工夫を図る	検定等にも対応できる専門的知識の習得に努める。 教科の指導を通してコミュニケーション能力やビジネスマナーの涵養を図る。	⑥⑨ ①②④⑤	C	
	教務	授業時間の確保	教科間の授業見学や生徒アンケートを通して、日々の授業を振り返り、授業改善を図る。	⑭	B	・「総合的な探究の時間」の指導方法の確立 ・生徒の図書室利用の促進 ・特活係と連携した、部活動等の大会結果などの外部発信
グランドデザインに基づく特色ある教育課程の編成		授業の終始時刻の厳守に努める。 出張・年休等における授業交換等の徹底を図り授業時間の確保に努める。	①④ ⑦⑩	A		
情報管理の運営		グランドデザインに基づいた教育課程の編成を行う。 3年間を通じたコース毎の到達目標・指導計画の確立を図る。	⑧⑨ ⑧⑨	B		
校内研修の充実		学校全体のデータ管理、データ処理の援助を行い、校内LANシステム、支援システムの円滑な運用を図る。	⑥⑨⑩	B		
広報・広聴の推進		生徒が所有する学習用端末の持込利用について円滑な運営ができるよう支援し、ICTを用いた授業の促進を図る。	⑦⑩⑬	C		
読書環境の整備と広報		新学習指導要領、観点別学習評価、人権等についての研修の充実を図る。 「道徳」、「総合的な探究の時間」の実施について、各年次と関係分掌との連携を図る。	⑦⑩⑫ ④⑧	C		
図書利用の促進		学校案内・学校便りを作成し、地域・中学校・保護者へのPRを積極的に行う。 HPの更新を随時行い、地域・中学校・保護者へのPRを積極的に行う。	②③ ③⑤	B		
PTA主体の活動の活性化		図書館内の美化や図書の配置・配架を考え、利用しやすい環境を整備する。 「図書館報」やライブラリーニュースを発行し、新着図書の連絡や読書の効用などを周知する。	④ ④	A		
進路指導		生徒の主体的な進路選択支援	図書館利用を活性化させる。 図書館行事などを工夫し、利用促進を図る。	⑦⑨⑩ ⑦⑩	A	
進学指導の充実		地域社会と連携して各種行事に参加する。	⑤	C		
就職指導の充実	広報係、研修係、生徒指導委員の活動の協力を行う。 PTA総会や学校行事への保護者の参加者数を多くする。	④⑤ ④⑤	B			
生徒指導	基本的な生活習慣の確立	「進路の早期決定」を目指し、キャリア教育を計画的に行う。	⑥⑨	B	・体系的な3年次の進路指導の計画と実施 ・各年次間の連携を深める ・進学希望者の学習対応の充実 ・卒業を見据えた指導の早期実施	
	規範意識とモラルの向上	合格実現と進学後に対応できる学力の養成を図るため、課外授業、面接練習、小論文等の指導を行う。	⑩	D		
	危機管理と問題行動の未然防止	基礎学力の定着を図るため、各教科と連携し指導を行う。	⑦	C		
	交通安全の未然防止	学校一丸となって正しい制服の着用や頭髪になるよう指導の徹底を図る。 登校指導を通して容姿指導を行ったり、SHRや授業への遅刻を少なくするよう指導する。	② ①②③⑥	C		
	生徒の主体的な活動の支援	言葉遣いや礼儀の指導を積極的に行う。 規則を遵守して生活できるよう、集会やHRを通して指導していく。 授業妨害、反抗的態度、暴言等には毅然とした態度で指導に臨む。 校内の盗難事故をなくす。	③④⑤ ④⑤ ④⑥ ④	C B B A		
	危険管理と問題行動の未然防止	生徒の発する小さなサインにも常に注意を払う。 家庭訪問等を積極的に行い、保護者及び外部機関との連携を密に取る。 校内・校外の巡回指導を計画的に行う。	② ④⑤⑥ ④⑥	B B A		
	交通安全の未然防止	問題を抱え込まず、年次を越えて情報連携を行う。 集会やHRの指導を通して、交通ルールやマナーを遵守する態度を養う。	①②④⑥ ④⑤	B B		
	交通安全の未然防止	二輪車及び四輪車の事故をなくす。 免許取得に関するルールを遵守する。	④⑤ ④⑤	A C		
	生徒の主体的な活動の支援	生徒会活動の自主的な計画を促し、主体的な活動を支援する。 生徒会主体による学校行事の活発化を図る。 キャリアパスポート等によって学習や生活に見通しを持たせ、活動について振り返りまとめさせることで、主体的に行動できるように支援する。	③④⑤ ④⑤ ③④⑧⑨	B B C		

評価項目	具体的目標	具体的方策	評 価	次年度への主な課題	
保健厚生	生徒・教職員の心身の健康の増進	学校環境の安全点検、健康診断の実施及び統計、保健室の管理運営に努める。	⑤	B	・救急体制を確立するために職員研修の充実を図る。
		防災避難訓練の計画と実施、非常時の安全対策を行う。	④⑤	B	
		性教育講話の計画と実施、性に関する正しい知識の育成を行う。	⑤	B	
		生徒、教職員の心身の健康保持増進を図るため、積極的な広報と研修会を行う。	⑤	B	
		風邪やインフルエンザ等の感染症、食事、保健室の利用状況等について情報を共有する。	⑤	B	
	生徒の学習活動のための環境設備の充実	清掃指導の徹底、清掃用具の管理に努める。	③④	B	
		学期に1回、全校生徒による大掃除を行い、学習環境の整備と環境美化意識の向上に努める。	③⑤	A	
		環境整備の一環として、販売業者との連絡・調整を行い、円滑に販売できるよう連携を図る。	③④⑤	B	
	教育相談の充実	教育相談について、担任・学年をバックアップできる体制を整える。	③④⑤	B	
専門機関・スクールカウンセラーと連携してカウンセリングを行う。		③④	A		
教育相談・カウンセリングを通して、教員・生徒の支援活動をする。		③④	A		
1年次	基本的な生活習慣を確立する	あいさつ、礼儀、みだしなみ、言葉遣いを徹底させる。	③④⑤	C	・規範意識の醸成と他者を思いやる心の向上。 ・進路実現に向けての、学力向上。
		校則を遵守させ規範意識を育てる。	①②④⑤	C	
	文武不岐を実践する	家庭との連絡を密にし、信頼関係の構築につとめる。	①②③④	B	
		将来の目標をもたせ学習に対する意欲を喚起する。	⑥⑦⑧⑨⑩	C	
		部活動に積極的に取り組ませ高校生活を充実させる。	③④⑤	D	
進路選択に向けて社会性を育てる	学校行事、HR活動等に意欲的に取り組ませ仲間との協調性を高め、人間関係を構築する。	③④⑤	C		
総合学習・LHRを充実し、自己の在り方・生き方について考える。	③④⑤	C			
自己を見つめ様々な考え方・生き方・職業があることを認識させ、社会とのつながりがもてるようにする。	③④⑤⑧	B			
2年次	基本的な生活習慣を確立する	あいさつ、礼儀、言葉遣いの指導を根気強く行う。	③④⑤	C	・自己理解・自己管理能力の育成 ・希望進路実現
		校則を遵守させ規範意識を育てる。	①②④⑤	C	
	文武不岐を実践する	家庭との連絡を密にし、信頼関係の構築に努める。	①②③④	B	
		将来の目標を確立し、学習に対する意欲を喚起する。	⑥⑦⑧⑨⑩	C	
		部活動に積極的に取り組ませ高校生活の充実を図る。	③④⑤	D	
進路目標を確立する	学校行事、HR活動等に意欲的に取り組ませ仲間との協調性を高め、人間関係を構築する。	③④⑤⑬	A		
	進路講話会やインターンシップに積極的に取り組み、自分を見つめ進路目標を確立させる。	⑥⑧⑨⑬	B		
希望進路実現のため早期から学力の向上と進路意識の向上に努める。	⑥⑦⑧⑨	C			
3年次	基本的な生活習慣を確立する	あいさつ、礼儀、言葉遣いの指導を根気強く行う。	③④⑤	A	・進路実現のための面接指導の方法 ・部活動加入者を増やす
		家庭との連携を図り、規範意識のさらなる向上に努めさせる。	②③④⑤	A	
	文武不岐を実践する	提出物の期限を守ることや、遅刻者などへの指導を根気強く行う。	①③④⑤	B	
		部活動、学校行事、HR活動等に主体的に参加させ、人間性を高める。	③④⑤	B	
		授業でのチャイム着席を徹底し、真剣に授業に取り組ませる。	①③④⑦	A	
	進路実現への支援	進路講話会や面接練習に積極的に取り組み、自分を見つめ進路選択を確立させる。	⑥⑧⑨	B	
希望進路実現のためさらなる学力の向上と進路意識の向上に努める。		⑥⑦⑧⑨	B		

※ 評価基準 : A:十分達成できている B:達成できている C:概ね達成できている D:不十分である E:できていない